



火災報知器の電源を切り・・・！ 点検せず ！

—西日本防災システム

2016 01 09

NBS
119

神戸でこんなことがありました

昨年1月 神戸市長田区の集合住宅で3人が亡くなった火災で、兵庫県警は1月8日 この集合住宅の火災報知設備の電源を切ったとして、1階に住む無職の56歳男性を**過失致死**の疑いで神戸地検に書類送検したそうです。自動火災報知設備の電源を切った行為での立件は非常に珍しいようです。

さらに県警は、消防用設備の点検を怠ったとして、住宅を管理する不動産会社の61歳男性社長も**業務上過失致死**容疑で書類送検したようです。いずれも容疑を認めていて、県警は起訴を求める「**嚴重処分**」の意見を付けたそうです。

送検容疑:56歳男性は火災の半年から1年前に管理室に入って設備の**電源を切り**、管理会社社長は2012年に設備を更新してからまったく**点検せず**、火元以外の男性2人の避難を遅らせて死亡させたとしています。この男性は管理会社から管理室の鍵を預かっていたそうです。



この種類の行為に対する新しい方向性が見えるかも・・・！



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>

弊社top pageへ

